

目 5行レシピ<チラシづくり編>

印刷物を作る上で重要な要素となる「紙」。紙の特徴を正しく理解して、使用の目的に応じて使い分けようになるとワンランク上のチラシづくりができるようになります。

▼ コート紙

光沢があり、表面がツルツルしている。ポスター、パンフレット、カタログ、雑誌類の表紙など

▼ アート紙

光沢があり、高級感がある。写真を多く使用した印刷などに適している。高級美術書、パンフレット、カタログなど

▼ マット紙

光沢はあまりない。印刷面は落ち着いた印象となる。パンフレット、リーフレット、DM、広報誌、取扱説明書など

▼ 上質紙

コーティングされていないため、光沢や艶が少ない。価格は比較的安価。単色印刷で使用される場合も多い。コピー用紙、帳票類、ページ物、チラシなど用途も幅広い。



The 志免町 まちづくり 支援室

2016.9.30

Vol.11

元気いっぱい♪♪

ぼうざん

BO-ZANキッズクラブ

レポート

<本号の内容>

- ★【登録団体レポート】BO-ZAN キッズクラブ
- ★【講座レポート】会計講座ほか
- ★【志免町をもっと知ろう!】町内会



(左上) 学習に励む子どもたちと見守る高校生 (右上) 今では貴重な竹ぼっくり (左下) 水遊びも全力です (右下) スイカ割り後にみんなで食べました

今年の夏も、高齢者福祉施設望山荘で子どもが過ごす『BO-ZANキッズクラブ(企画運営団体:BO-ZANキッズクラブ)』の活動が開催されました。

3年目の今年は、7月から8月にかけて全5回の日程で、子どもたちは福祉巡回バスなどを使って望山荘へ集合すると、まずはリコーダーの練習からスタート。全員揃うと朝の会、夏休みの宿題、昼食、あそびと大盛り上がり。今年の参加者は定員の31名。この時ばかりは望山荘に元気な子どもたちの声が響きます。

■『私たちが、夏休みの子どもの居場所をつくれなかな?』

活動の始まりは、夏休み中の子どもが遊べる場所の少なさに気が付いたこと。昔に比べると、今の子どもたちには「やってはいけないこと」と「やらなくてははいけないこと」ばかりが増え、子どもが自由にあそべる場所や時間は減っていくばかり・・・

そこで『子どものあそび場を確保しよう、子どもたちを見守ろう』と立ち上がったのが、このBO-ZANキッズクラブを運営する、子どもたちにとってはおばあちゃん世代の中心メンバーの3人です。

■高校生のボランティアが大活躍!

BO-ZANキッズクラブでは、思い切りはじけ

て遊ぶ時間と、集中して勉強に励む時間のメリハリのある日程を組んでいます。勉強は、夏休みの宿題や自習を中心に、須恵高校の高校生ボランティアが優しく教えてくれます。また、遊びの時間や昼食の時間にも、高校生と一緒に過ごすことで、子どもたちが落ち着いて参加できるようになるそうです。

その他にも、地域の大人たちや望山荘の利用者の方からの協力を得て、世代間交流も実現しています。

■子どもたちの笑顔に達成感

支援室スタッフが取材に伺ったのは最終日。初回こそ緊張していた子どもたちも、学校の壁を越えてリラックスした雰囲気でした。参加者の中には、2年、3年と連続で参加する子もいるそうです。(※参加者は小学4~6年生です) 年数を重ねるにつれて、学校などにも認知してもらえるようになり、前よりもスムーズに案内を出すことができるようになりました。

メンバーは「子どもたちの夏の思い出作りになったかな」と、笑顔でふりかえります。

【Q】住民活動に関わるきっかけは何ですか?

【A】高校時代に関心を持った国際協力について大学で学び、今は博多区にあるNGOで事務局職員をしています。このほか、フェアトレード(公正貿易)の普及に関わる活動もしています。

【Q】事務局の仕事とは?

【A】事務局は縁の下の力持ち。一見地味な役割ですが、事務が無ければどんな優れたアイデアも実現させることができない、いわば団体の実行力の要となるポジションです。

その中で、僕が特に意識しているのは「迅速な作業」「業務の見える化」「スケジュール化

◎支援室メンバー紹介

と工程管理」。例えば、会議後2日以内に議事録を作り関係者へメールする、雑多な仕事を整理し確実にこなす「やることリスト」づくり、事業全体の進捗管理も大切な役割です。

日々の確かな仕事の積み重ねは“団体への信頼”につながりますので、ある意味“団体の顔”と言えるかもしれません。

◎この相談に答えた人

本田正之(非常勤スタッフ)

◎興味関心

田舎暮らし、農業、ランニング、文房具



まちづくり支援室は、住民活動を支援し、志免町と町民の皆さんとで協働したまちづくりをすすめるために設置された施設です。専門のコーディネーターを配置し、NPOやボランティアに関する情報を発信するとともに住民活動に関する相談やアドバイスをを行っています。



■支援室からのお知らせ

●次回予定している講座のテーマは「振り返り」。秋はイベントシーズンですが、終了後しっかり「振り返り」していますか。よかった点や改善すべき点を整理すると次回にしっかり繋がります。12月3日(土)10時~の予定。詳細は決まり次第お知らせします。ぜひご参加ください。

★次号<Vol.12>は2016年12月発行予定です。



- 発行: 志免町まちづくり支援室
- 発行日: 平成28年(2016年)9月30日
- 編集: NPO法人ミディエイド
- 住所: 〒811-2244 福岡県糟屋郡志免町志免中央1-3-2 (生涯学習1号館内)
- TEL: 092-936-8626
- FAX: 092-936-8626
- E-mail: collabo@town.shime.lg.jp
- 開館時間: 9:00~17:00